

# 中部緊急防災隊

## 防災隊式典・班長会議

日本道路建設業協会中部支部の会員を中心として、中部五県の道路事業社有志で結成する中部緊急防災隊(岩田裕美本部長)は、7月27日、名古屋市名東区のサンプラザシーズンズに於いて160人の参加の下、当年度の防災式典を行い午前中には、各地区の代表者と事務局の参加により、班長会議を開催しました。

隊旗の入場につき、岩田本部長の訓示では「いかなる災害に対しても、これまで培ってきた経験を生かして対処していく。会員各位は今まで以上に緊急連絡体制の強化、資機材の確保により一層の充実を図り、迅速、的確な行動を期待する」と述べました。また、来賓あいさつでは、国土交通省中部地方整備局の鈴木学道路部道路調査官が、東日本大震災では、緊急輸送路の確保が重要な役割を果たしたことに触れ、「中部緊急防災隊が地区ごとに配置され、迅速に活動する体制を整えていることは、行政機関としても心強く思っている。いつ起こるか分からない災害に日頃から備え、いざという時は速やかな支援と協力をお願いします。」と一層の体制強化を求められました。続いて、渡邊忠泰日本道路建設業協会 環境安全労働委員長は「中部緊急防災隊は、発足30年を超える歴史ある組織で、他の支部では例の無い独自で、貴重な組織と聞いている。東日本大震災では、被災地へ、自ら所有する給水タンクを直後に届ける等素早い対応をした」と称賛されました。

